

日本一やさしい医療と介護を提供する 医療法人社団 高原会

ハイランド通信

平成28年5月 VOL009



EQ（感情指数）を活用した職員能力開発プログラム開始のお知らせ

医療法人社団高原会では、医療と介護サービスで一番重要なことはそのサービスを提供する職員つまり人材の育成が大変重要だと考えております。そして高原会では人材は『人財』と捉え、かねてから推進してきた人財育成を、今年度は更に進化させてEQ（感情指数）を活用した独自の能力開発プログラムを推進することとなりました。

EQとはEmotional Quotient直訳すると「感情指数」これは知能指数（考える能力）がIQであるのに対し感情指数（感じる能力）つまり感情をコントロールする力、目的達成のために感情を上手に調整することです。

医療介護の現場において私達が一番大事にしていることが「やさしさ」です。

その「やさしさ」を「信用」=IQ（数字や理論）で結ばれた組織から「信頼」=EQ（感情）で結ばれた組織によって具現化する（提供する）事を目的にしております。

高原会の医療と介護サービスを担う人材の能力開発を強力に推進し、地域に根ざした、地域の皆様に今まで以上に信頼される組織となるべく職員一同努力して行く所存ですのでどうぞ御期待下さい。とは言え、まだまだ至らぬ点が多々あるかとは思いますが利用者さん、患者さん、御家族の皆様、そして関係協力機関の皆様と共に地域医療と介護サービスの充実と発展を目指して行きたいと思っておりますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



地域包括ケアシステム

超高齢社会において「地域包括ケアシステム」の構築・運用が急務です。高原会においても、地域に根ざした医療と介護サービスの提供を柱とし、更なる医療と介護の地域連携と多職種との連携の為、4月8日に法人統括本部主催「医療介護連携会議」の中で、高原理事長・壬生倉常務理事両医師参加の中、対策を検討しました。医療・療養型の病院を有することの強みを活かし、地域の医療機関や介護施設の後方支援病院としての地位の確立、また機能の強化や、更なる地域包括支援センターとの連携強化を推進して行くことを再確認しました。

当会内の各事業所間・職員間の連携強化も更に推し進め医療法人として、当会全体で「地域包括ケアシステム」に対し役割の一翼を担って行く所存です。皆様の御理解と御協力を宜しくお願い致します。



医食同源（高原会栄養課より）

（このコーナーでは高原会栄養課より、食事に関するコラムや、普段提供している食事の紹介など、食にまつわるエッセイをお届けします。）

コンビニやテイクアウトなど、すぐに食べ物が手に入る便利な世の中にはなりましたが食べ物に対し感謝の気持ちが薄らいでしまう環境でもあるのかな・・・と感じる今日この頃です。やはり、食べられる幸せ。（＝食べ物がある幸せと、身体的に食べる事が出来る幸せ）



に感謝の気持ちは忘れずにいたいものです。さて、高原会では各事業所、4/5,6の昼食で【お花見御膳】を行事食として提供しました病院をはじめ荊沢エリアのおやつは【桜蒸しあんぱん】を栄養課で手作りし食事形態的に食べにくい方へはソフト食にして提供しました。普段、食が細い方も、いつもより食べて下さり、少しでも心のこもったおもてなしとなっていれば幸いです（興石）



植栽は手作りで^^

日に日に暖かくなり、楡形富士見介護支援センターの花壇も利用者さんと一緒に、手入れをしたり、観賞できるよう、植え込みを準備しています。しっかり根付くようにとお祈りしつつ、職員が丁寧に、植えて行きました。これからも利用者さんや職員、更には通行する近所の方々の心の癒しになる様に大切に育てて行きたいと思っております。



ペーパーレス会議を導入

医療法人社団高原会では、定期開催会議の内、管理者会議の上位会議において、環境への配慮、コスト削減、意思決定・伝達・承認の即時化などを目的として、会議をペーパーレスとしました。これからの利用者さんや職員、参集する時間も削減できるかもしれませんが、顔を突き合わせて、議論するという人間的メリットを捨て切れずにいます（笑）



甲西・荊沢・若草介護支援センター

◆デイサービスもみじにて◆



職員による披露を披露しました。当日はお孫さんの協力もあり、利用者様も夢中でした。「婦人会でたくさん踊りを踊ったよ〜」と懐かしみながら共に真似る方もみられました。

◆デイサービスもみじにて◆

春になり、外気浴を行いながら皆さんで歌を唄ったり談笑しながら過ごす時間を作っています。風も心地よく、リフレッシュできるととても喜ばれています。庭のハナミズキもそろそろ見頃です。



◆甲西・荊沢・若草介護支援センターご紹介◆

当センターは高原病院を中心として、複数の介護施設を含めた総合介護支援センターです。高原病院と近いという最大の利点を生かし、医療と介護の連携を最大限に生かせるのが強みです。



〒400-0422
山梨県南アルプス市荊沢277-1（他）
TEL055-280-3622（他）
センター長 医療・介護保険事業部統括部長 田野倉博史（兼任）

- 運営施設（複数箇所にて）
- 一般デイサービス
- 認知症対応型サービス
- サービス付き高齢者向け住宅

白根介護支援センター

◆デイサービス今諏訪温泉にて◆



日々のアクティビティ活動の中でも作業療法士が関わり、工夫（道具・声掛け身体サポート等）することで、より一層の効果が期待できます。活動量や個々の能力に応じた活動を提供します。



◆白根介護支援センターご紹介◆

各部門のスタッフが、最高の笑顔の為に頑張っているのが特徴です。土曜日、日曜日も通常通りご利用いただけます。介護、看護、機能訓練、調理、送迎等、各専門性の高いスタッフのチームワークで今日も楽しい一日をお届けします。



〒400-0211
山梨県南アルプス市上今諏訪437-1-1F
TEL055-280-8861
センター長 立川 信（兼任）

- 運営施設
- 一般デイサービス
- 認知症対応型サービス
- サービス付き高齢者向け住宅

小笠原介護支援センター

◆小笠原予防センターにて◆



4/14に餃子パーティーを行いました。前日から準備した300個の手作りの餃子を目の前で焼いてもらい美味しくいただきました。（ホームページの記事も併せてご覧ください）

◆小笠原予防センターにて◆

今回「らるご」というボランティアの方に来ていただき甲州弁紙芝居や横メロの歌をみんなで歌ったりと楽しみました。特に甲州弁紙芝居「シンデレラ」では終始笑いが止まりませんでした。



◆小笠原介護支援センターご紹介◆

県内でも有数の広いフロア面積を誇り、自由にお過ごせる気軽さが自慢です。充実したトレーニングマシンを完備、理学療法士・作業療法士による専門的な個別リハビリテーション、様々なアクティビティや季節に応じたイベントが好評です。



〒400-0306
山梨県南アルプス市小笠原403-1
TEL055-280-1711
センター長 立川信

- 運営施設
- 一般デイサービス
- 認知症対応型サービス
- 南アルプス市総合事業
- 高原会トレーニングクラブ
- 職員向け託児所
- 障害者相談支援事業所

甲府魚町介護支援センター

◆小規模多機能甲府魚町にて◆



皆さん楽しみにしていた舞鶴公園のお花見に行ってきました。天気も良く桜も満開！お昼は高原会の特製カレーを食べました。家族の方も参加され大変好評でした。

◆小規模多機能甲府魚町にて◆

こちら楽しみの昼食。今日は利用者さん自ら「ここがいいですね」と選んだお寿司屋さんにしましたよ。おいしいねーと笑顔です。^^その後ショッピングに行ったり、とても充実の時間でした^^



◆甲府魚町介護支援センターご紹介◆

通っても、泊まってもご自宅への訪問も、いつでも顔なじみの職員が対応させて頂く事が出来る為、安心して相談していただけます。また家庭的な雰囲気の中で個別に家事訓練や機能訓練など行う事が出来るのが特徴です。



〒400-0032
山梨県甲府市中央2-12-6 2F
TEL055-236-2611
センター長 向山直樹

- 運営施設
- 小規模多機能

富士見介護支援センター

◆デイサービスやわらぎにて◆



イベントとして、大正琴グループ早乙女会の皆さんによる演奏会を開催しました。昭和の名曲のお礼として、利用者さんから手作りの飾り物をプレゼントしました。



◆富士見介護支援センターご紹介◆

平成25年にオープンした高原会では一番新しい施設です。利用者さん一人ひとりの想いを理解できるようスタッフが利用者さんとじっくり向き合い笑顔を保ちます。大切なことにしています。



〒400-0306
山梨県南アルプス市小笠原1107-3
TEL055-298-6911
センター長 統括本部長 飯久保 貴（兼任）

- 運営施設
- ショートステイ
- 一般デイサービス
- サービス付き高齢者向け住宅

教育研修部より

今回も、昭和町からの依頼により、「おたっしや出前講座」の講師として、地域の公民館で認知症予防の講座を行いました。高齢者とボランティアの方と和やかなひと時を過ごしました。介護保険の対象者の第1位が認知症です。高齢社会において「健康寿命」を延ばして、健康でいきいきとした生活を送るためには、認知症を予防することがとても重要です。指・頭・足など自分の体をフルに活躍させ、健康に暮らす方法を皆で楽しく行いました。



高原会新入職員の研修を行いました。3名の職員が、利用者が安心して安全な介護技術を提供できることを目指して生活支援技術の基礎を学びました。利用者・家族への心からのおもてなしを実践していくことを目標に頑張ることを再確認しました。



↑ベッドメイクも実際に体験します。体位交換の実演です。→



↑バイタルチェック実演として血圧測定の基本を確認中です。→

スキルアップをめざし、「日本一やさしい医療と介護を提供する」ために今後も研修を数多く企画・実施したいと思っております。（功刀）



居宅介護支援事業所より

高原会介護保険相談室では、定期的に勉強会を開催し、情報の共有・意識・方向性の統一化を図っています。今回は「地域生活支援」についての勉強会を行いました。

- ①「大切にすべき地域との関係」として、①介護が必要になっても、家族や地域社会とのつながりが切れないように支援する。
- ②自分の家や地域社会から切り離さない。
- ③家族や地域社会との関係を調整する。
- ④なじみの関係を築けるように支援する。



と、結論付ける事が出来ました。利用者・家族が幸福であるために、支援させていただけたらと思います。（植松）

福祉用具相談室です^^

●超低床ベッド「楽匠FeeZ（フィーズ）」を試してみませんか？

これまでの低床ベッドよりもさらに低いベッドが登場しました。①ベッドから転落する危険・心配がある方 ②布団の習慣から、ベッドに変えるのが怖い方 ③一緒に寝る介護者が、視線を合わせたい方 ④這って移動する方にもおススメいかがでしょうか？立つ時や移乗するときは立ち上がり易い高さに設定し、寝るときは一番下まで下げて使用しましょう。利用者さんの自立支援に役立てていただければと思います。（浅川・石川）



納品の時はこのように梱包が分れています。これを丁寧に組み立ててゆきます。平坦に見える床でも、微妙な差があるものです。

高原会 本部から

■熊本地方の大地震に際し 高原会 理事長 高原仁のコメント抜粋

熊本県を震源地とする大地震に際しまして

大震災により、被災された地域の皆様により心よりお見舞い申し上げますとともに、安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。また、現地に災害対策・復興支援に尽力されている皆様に敬意と感謝の意を表します。（公式HPより一部抜粋）

■教育研修部室・実習室

▼平成28年5月24、25日
新入職員研修を行います。

▼平成28年5月19日
外部講師を招聘し、口腔ケア勉強会を開催します。

▼各事業所の勉強会を開催します。

日本一やさしい医療と介護を提供する



医療法人社団 高原会
発行：医療法人社団高原会
山梨県南アルプス市荊沢255
編集：法人統括本部 広報担当
お問合せ：TEL055-280-3511

ハイランド通信 平成28年5月
Vol009